

③ 利便性の向上 ~九州佐賀国際空港までの所要時間が短縮~

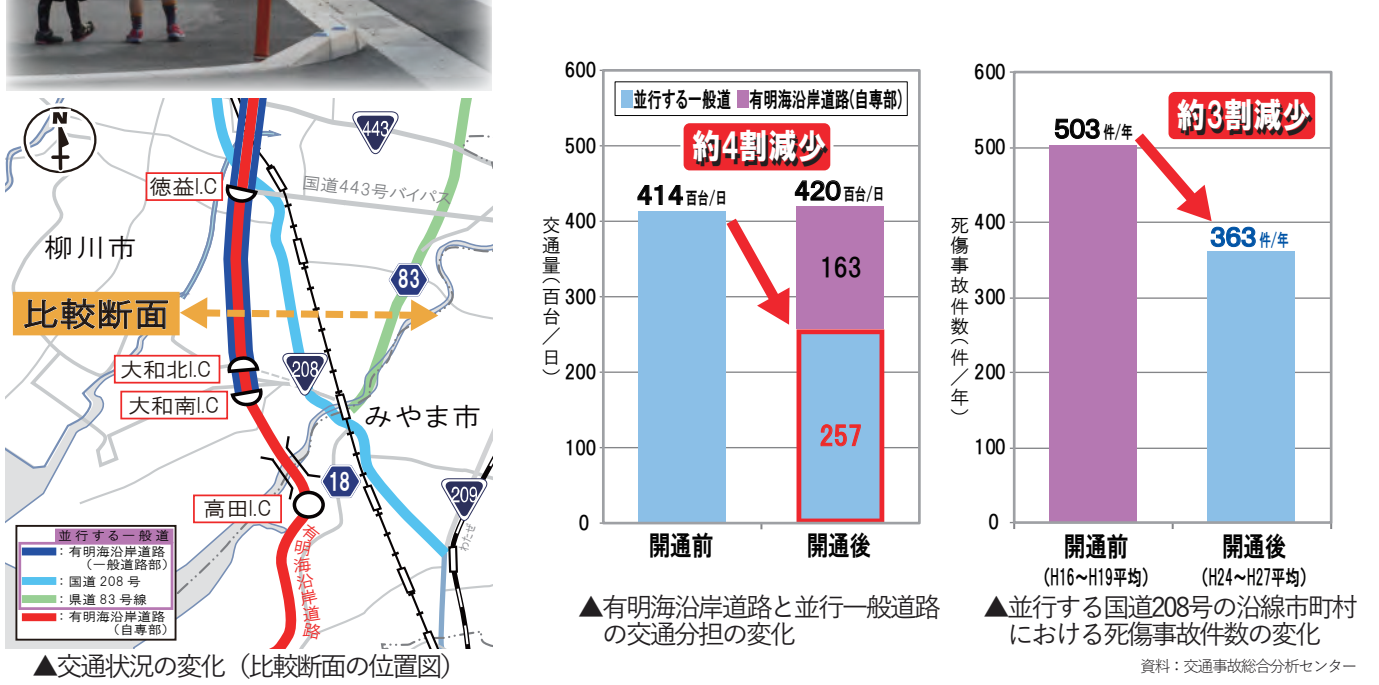
九州佐賀国際空港と大牟田市間の所要時間は、有明海沿岸道路の開通前（国道208号等を利用）では、約90分でした。平成32年度に大川東IC~大野島ICが開通することにより、所要時間は約半分（約90分→約40分）に短縮されます。



▲大牟田市~九州佐賀国際空港の所要時間の変化

④ より安全でより快適に ~並行する一般道の交通が4割減少し、死傷事故数が3割減少~

開通により、並行する一般道の交通が有明海沿岸道路に転換することにより渋滞が緩和するとともに、死傷事故数も減少しています。並行する幹線道路や生活道路がより安全で快適になることが期待されます。



▲交通状況の変化 (比較断面の位置図) ▲並行する国道208号の沿線市町村における死傷事故数の変化

有明海沿岸道路では多彩な姿を見せる橋梁や構造物が建設され、地域のランドマークとなっています。

- 矢部川大橋**【橋長:517m】 ケーブルを支える主塔の高さ約85m。また中央支柱間長は261m。橋名は、地域の皆様の意見で決めました。
- 米垣連続高架橋**【橋長:423m】 丸く弧を描き柔らかな印象を与える独特の構造は、橋向こうの風景が見えやすく、周辺部の風景との一体感を演出しています。
- 中島七連続高架**【延長:136m】 地域分断を回避し、また風通しも良く、という地域の声に配慮して、本体部は大きく半円を描く構造となっています。
- 健昭橋**【橋長:201m】 船の航行に支障が出ないように、中間部に橋脚を設けず、橋にかかる力をアーチ部分と桁部分で受け持つように配慮しています。
- 大牟田連続高架橋**【橋長:354m】 大牟田川を跨いで架かる橋の橋脚間の最大長は150mあり、その外観は社観な印象を与えます。
- 諏訪川橋**【橋長:210m】 船の航行に支障が出ないように、中間部に橋脚を設けず、橋にかかる力をアーチ部分と桁部分で受け持つように配慮しています。

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
〒813-0043 福岡県福岡市東区名島3丁目24番10号 TEL 092-681-4731(代)
ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>
Facebook <http://www.facebook.com/fukkoku.qsr.mlit.go.jp>

国土交通省 九州地方整備局 有明海沿岸道路出張所 福岡国道事務所
〒832-0824 福岡県柳川市三橋町藤吉495 TEL 0944-74-2930(代)

有明海沿岸道路

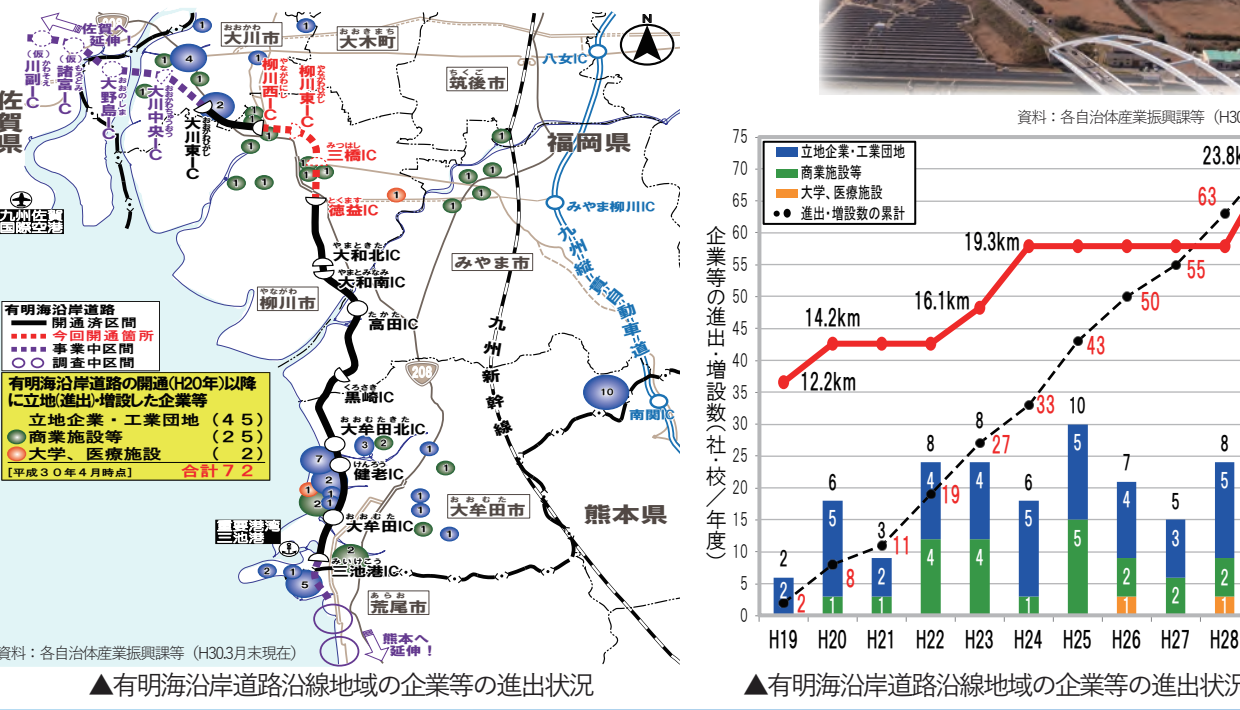


国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
国土交通省 九州地方整備局 有明海沿岸道路出張所

Ariake Seashore Highway

① 沿線開発が加速 ~企業、商業施設等が沿線地域に相次ぎ進出~

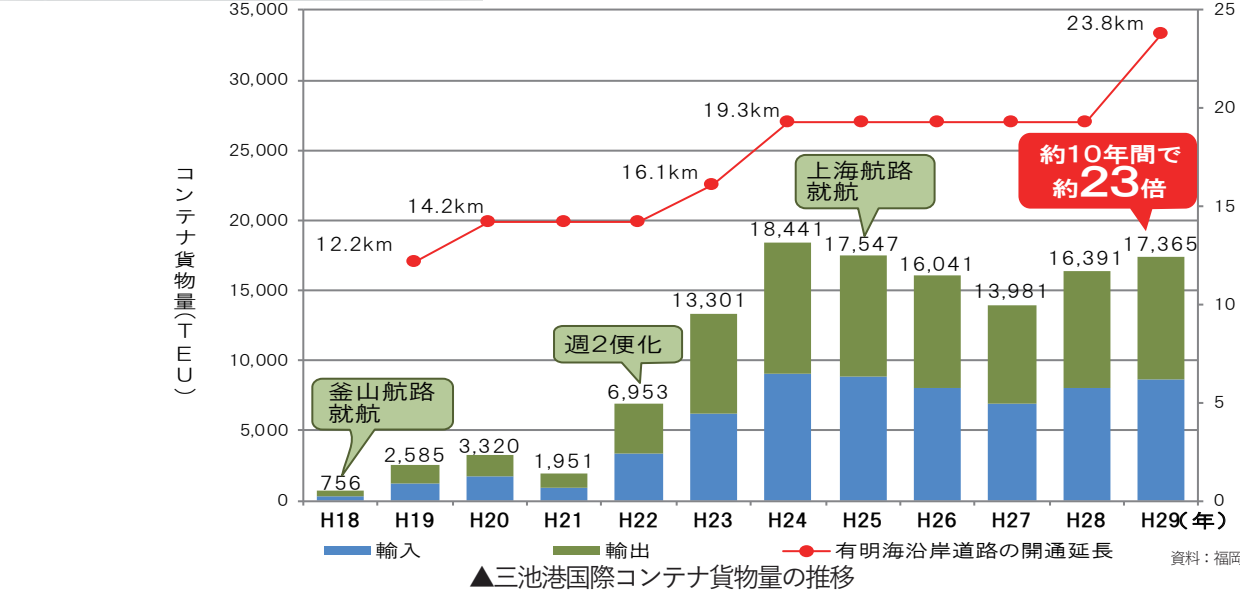
有明海沿岸道路の沿線地域では、九州縦貫自動車道、九州新幹線等のアクセス性も良く、企業、商業施設、大学等計72社が新たに進出・増設しています。



▲有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況

② 物流の効率化 ~三池港との連携強化により、物流を支援~

福岡県南部の重要港湾「三池港」との広域物流ネットワークが強化されることで、物流の効率化が図られます。その結果、三池港の国際コンテナの取扱貨物量は、約10年間で約2.3倍までに増えています。



▲三池港国際コンテナ貨物量の推移

有明海沿岸道路の概要

有明海沿岸道路は、「**無料の自動車専用道路区間**」と一般道区間を含めた総延長25.7kmが連続して通行可能になり、大牟田～大川間のネットワークが強化されました。

将来的には九州横断自動車道路などと連結し、九州の広域交通ネットワークの一翼を担う**地域高規格道路**として機能することとなります。

また、有明海沿岸道路は、沿線都市間の交流促進や三池港等の広域交通拠点へのアクセス性向上によって「**地域の発展**」を支援し、更には、一般道路の混雑緩和や安全性向上によって「**生活の利便性向上**」にも寄与する道路です。

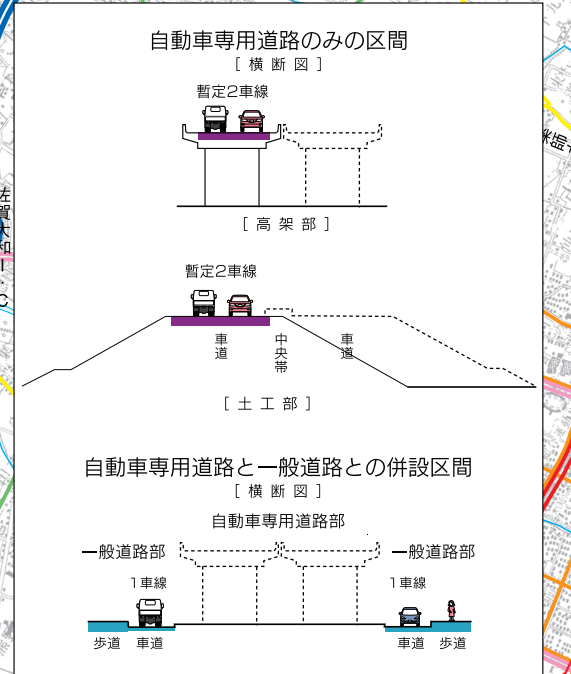
◆地域高規格道路とは？

地域高規格道路は、高規格幹線道路を補完し、地域の自立的発展や地域間の連携を支える道路として整備することが望ましい路線です。



凡例

	整備区間 (直轄事業中区間)	
	整備区間 (直轄事業区間外)	
	整備区間 (一般部併設開通区間)	
	高速道路	
	国道 (直轄管理区間)	
	国道 (直轄管理区間外)	
	主要地方道	
	都市計画道路	
	主な市道	



◆事業の経緯

年度	有明海沿岸道路事業
昭和63年度	大川佐賀道路 L=9.0km
平成5年度	大川バイパス L=10.0km
平成7年度	高田大和バイパス L=8.9km
平成9年度	大牟田高田道路 L=8.6km
平成10年度	事業化
平成11年度	用地着手
平成12年度	整備区間に指定 (7m)
平成13年度	都市計画決定
平成14年度	都市計画決定
平成19年度	都市計画決定 環境影響評価書の公表
平成20年度	路線測量・地質調査に着手 大野島IC～南諸富IC 約2.8km 大野島IC～黒崎IC 約2.4km
平成23年度	高田IC～大和南IC L=2.0m (自費部2/4) 開通
平成24年度	用地買収着手
平成27年度	工事着手
平成29年度	徳益IC～柳川西IC L=4.5m (自費部2/4) 開通

◆道路規格等

道路規格	第1種 3級	設計速度	V=80km/h
大牟田高田道路	事業区間 (自) 大牟田市新港～(至) みやま市高田町黒崎間	車線数	4車線
延長	8.6km	道路幅員	20.5m
高田大和バイパス	事業区間 (自) みやま市高田町黒崎間～(至) 柳川市大和町徳益	車線数	4車線
延長	8.9km	道路幅員	20.5m
大川バイパス	事業区間 (自) 柳川市大和町徳益～(至) 大川市大野島	車線数	4車線
延長	10.0km	道路幅員	20.5m
大川佐賀道路	事業区間 (自) 大川市大野島～(至) 佐賀市嘉瀬町	車線数	4車線
延長	9.0km	道路幅員	20.5m

「この地図は、国土院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平29九補、第11号)」